

祝 創立75周年
令和7年度3月号



咲かせよう大正の花 つなげよう大正の未来

台東区立大正幼稚園
HP: <https://www.taito.ed.jp/1380011>



自己肯定感を育む

園長 北村 恵

温かい日が多くなり、子供たちが植えた球根が伸びて花が咲き始めました。ぞう組の植えた水仙の蕾も、凛とした姿で伸びています。その様子を日々眺めながら「まるで、ぞう組の子供たちの今の姿のようだな」と思っています。

大正幼稚園の3年間で様々な体験を積み重ね、年長の2・3学期で、一人一人が大きく成長しました。少し難しいことに挑戦し、できるまで頑張ったことや自分の得意なことで友達に認められた体験、学級やグループのみんなで力を合わせてやり遂げた体験が自信となり、積み重なってそれぞれの自己肯定感が育まれてきました。

かけっこが誰よりも早く、友達に頼りにされたAさん。空き箱で素敵なものを次々と作って、「どうやって作るの?」といつも聞かれるBさん。給食の片づけを毎日率先しやってくれるCさん。恥ずかしがり屋のDさんも、いつもちょっと自信なさげだったEさんも、いつの間にか、さすがもうすぐ1年生だな、と思えるような堂々とした姿です。

毎年のことですが、立派になったぞう組を見ながら一抹の寂しさも感じてしまいます。3月の登園日はなんと12日。修了式が終われば小学校へと巣立っていきます。この姿なら、新しい環境でもきっと大丈夫!と思っていますが、そばで見られないのは少し残念です。

うさぎ組の子供たちの1年の成長も驚くほどです。活舌もよくなって、おしゃべりが止まりません。友達同士の会話もたくさん聞こえるようになりました。おうちごっこシチュエーションも細かくなって、玄関や呼び鈴も付くようになりました。そばにいと安心できる、一緒に遊びたい友達も見つかってきて「一緒におうちごっこしよう」など誘い合う姿も見られています。

ぱんだ組はもうすぐぞう組になることが楽しみで仕方がないようです。先日、5歳児の書道教室の日、ぱんだ組の子供たちが廊下に椅子を並べて座り、書道の先生の話真剣な顔でうなずきながら聞いていたのにびっくりしました。誕生会の司会や、モルモットの世話の仕方をぞう組に教えてもらいながら、「今度は自分たちの番だ」ということがとても誇らしげです。

様々な行事が詰まった3学期は、忙しい日々ではありますが、教育の成果が子供たちの姿に現れることで、先生たち自身の自己肯定感にもつながっています。もちろん、ご家庭と一緒に子供たちの成長を促して来ましたので、どうぞ、保護者の皆様も我が子の成長を喜びとし、ご自分の子育てを褒めて自信にしてください。

最後になりましたが、1年間、保護者、地域の皆様には大正幼稚園の教育保育にご理解、ご協力、熱い応援をいただきましたことに心から感謝申し上げます。